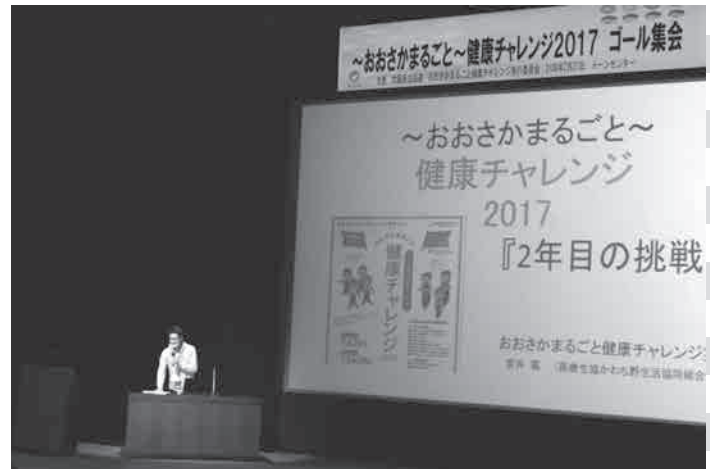


会報

KAI-HOU

No.333

2018.3.15



～おおさかまるごと～健康チャレンジ2017ゴール集会

[開催報告]	2017年度第4回理事会	1
[開催報告]	2018年新年講演会	5
[開催報告]	平成29年度大阪府消費生活協同組合優良役員表彰	6
[開催報告]	～おおさかまるごと～健康チャレンジ2017ゴール集会	8
[連載]	「サラダボウル～ひとりひとりが輝いて」	9
[スケジュール]		11

大阪府生協連 2017年度第4回理事会開催報告

開催概要

- I. 日時 2018年1月18日(木)
11時30分～12時35分
- II. 場所 天王寺都ホテル5階「信貴の間」
- III. 出席者
- (1) 理事（総数23名中、19名出席、4名欠席）
- ・会長理事 惣宇利紀男
 - ・副会長理事 柴橋圭介
 - ・専務理事 中村夏美
 - ・常任理事 入船行由、江口慶明、勝山暢夫、北川俊彦、中谷清、羽多野宏子（欠席：山口健治）
 - ・理事 秋山也寸子、足立美恵子、今宮正信、大内淳次、奥章、篠原聡、清水啓子、長里広美、洞井金桂（11時55分審議事項2より出席）、渡邊和典（欠席：久保幸雄、西村明彦、堀内明）
- (2) 監事（総数3名中、1名出席、2名欠席）
- ・監事 関戸雅弘（欠席：谷川英子、吉川卓次）
- (3) オブザーバー
- ・オブザーバー 櫻井秀一
- (4) 陪席
- ・事務局長 小山正人

IV. 議長 惣宇利会長理事

V. 議事の経過と要領とその結果

定刻になり、中村専務理事より、理事総数の過半数以上の出席をみたので、理事会の議決要件を充足した旨を告げ、開会を宣した。

惣宇利会長理事が議長として挨拶の後、議事を進行した。

審議事項

1 57回通常総会の件

小山事務局長より、第57回通常総会議案書の第1次案として、2017年度活動報告及び2018年度方針について、提案がされた。また会員概況の原稿執筆について、地域：久保理事、医療：中谷常任理事、大学：入船常任理事、職域：今宮理事、洞井理事、共

済：櫻井オブザーバー、大阪市民共済に依頼する旨提案がされた。

討議の結果、2017年度活動報告及び2018年度方針については、各役員の見を集約し、次回第5回理事会にて第2次案として継続審議することとし、その他提案どおり全員異議なく承認された。

2 2018年度年間日程（2次案）の件

小山事務局長より、2018年度年間日程について、第6回理事会の日程の訂正、第1回ジェンダーフォーラム協議会の日程変更、2019年4月～6月の日程を追加した第2次案の提案がされた。この件については、各役員の見を別途集約し、次回第6回理事会で最終の年間日程を確認する旨提案がされた。

討議の結果、提案どおり、全員異議なく承認された。

3 2018年新年講演会当日運営の件

小山事務局長より、新年講演会の進行の変更、司会を講演会は、清水理事、懇親交流会は篠原理事に要請する旨、また懇親交流会の理事・監事のテーブル分担等、運営について提案がされた。

討議の結果、提案どおり、全員異議なく承認された。

報告事項

大阪府生協連

1 分野別会議開催報告

以下の日程で地域、大学、職域・共済の分野別会議を開催し、各生協の2017年度事業経営の状況と2018年度の検討課題等について交流しました。

なお医療は、1月30日(火)に開催します。

【開催日程順】

○地域

[日時] 2017年12月6日(水) 15時～17時
[場所] 大阪府社会福祉会館 4階407
[出席者] 久保（いずみ）、貫（よどがわ）、大内（エスコープ）、松下（パルコープ）、牧（こうべ）、眞下（生活クラブ）、惣宇利・中村・小山（府連）

6 / 10 会員・府連 計 9 名

○大学

[日 時] 2017年12月12日(火)
14時30分～17時

[場 所] 大阪樟蔭女子大学
記念館 1 階182

[出 席 者] 関戸（阪大）、下永（教育大）、
今石（大経大）、後藤（樟蔭）、
前田（電通）、渡邊（府大）、
江口（関大）、入船（近大）、
田村（阪南）、惣宇利・中村・
小山（府連）

9 / 15 会員・府連 計12名

○職域・共済

[日 時] 2017年12月14日(木) 15時～17時

[場 所] 大阪府社会福祉会館 5 階502

[出 席 者] 松田（学校生協）、橋下（日鉄住
金大阪）、田中・岸本（市民共
済）、田邊（全労済）、惣宇利・
中村・小山（府連）

4 / 4 会員・府連 計 8 名

2 子ども貧困取り組み交流会開催報告

[日 時] 2017年12月19日(火)
14時～16時30分

[場 所] ドーンセンター 4 階 中会議室 3

[参 加 者] 10 会員、大阪府、府連 22 名

いずみ	2 名	よどがわ	1 名	グリーン	2 名
パルコープ	2 名	こうべ	1 名	生活クラブ	2 名
きづがわ	4 名	かわち野	2 名	ヘルス	1 名
ほくせつ	1 名	大阪府	2 名	府連	2 名
合 計					22 名

[開催概要]

- (1) 大阪府「子どもに生活に関する実態調査報告書を踏まえた課題と対応の方向性の整理について」
大阪府福祉部子ども室子育て支援課推進グループ
総括主査 尾崎 暁子 様
担 当 畠中富結子 様
- (2) 各生協から取り組み
- (3) 意見交流

日本生協連、他生協等

3 日本生協連全国方針検討集会参加報告

[日 時] 2018年 1 月16日(火)
13時～17日(水)12時

[場 所] 都市センターホテル

[出 席] 114 生協・連合会・団体450 人
府連（惣宇利・中村）

[内 容]

<一日目>

- (1) 日本生協連会長挨拶
会長 本田 英一 氏
- (2) 記念講演
「SDGs と生活協同組合への期待」
国際連合広報センター・所長
根本かおる 氏
- (3) 基調報告 1
「2017 年度まとめと2018 年度活動方針（一次案）」
日本生協連・代表理事専務
嶋田 裕之 氏
- (4) 基調報告 2
「2017 年度事業のまとめと2018 年度事業計画（2 次案）」
コープ共済連代表理事専務
荻原多加資 氏
- (5) 実践報告および質疑
- (6) 全体会のまとめ
日本生協連代表理事専務
嶋田 裕之 氏

<二日目> 分科会

	テーマ
第 1	くらしと地域社会の変化をとらえ、対応しつづける事業や活動をどうつくりあげていくか
第 2	くらしや社会の変化の中で、生協の未来を担う組合員の組織と運営参加をどうつくりあげていくか
第 3	生協を担う人材確保と育成をはかり、安定した経営と発展する事業をどうつくりあげていくか

4 関西地連第2回大規模災害対策協議会参加報告

[日 時] 2018年1月11日(木)
13時～16時40分

[場 所] 生協会館新大阪 4階会議室

[出 席]

<協議会委員> 19生協中17生協出席
トヨタ生協、コープぎふ、富山県生協、CO・OP富山、コープいしかわ、福井県民生協、コープしが、京都生協、ならコープ、パルコープ、いずみ市民、よどがわ市民、わかやま市民、コープこうべ、東海コープ、コープ北陸、コープきんき

<オブザーバー> 8府県連
愛知県連、全岐阜県連、三重県連、京都府連、兵庫県連、奈良県連、和歌山県連、大阪府連

[議 題]

- (1) 学習企画「平成27年9月関東・東北豪雨災害—災害から見えてきた課題—」
コープデリ生協連合会
安全推進・法務部 桜井 博孝 様
- (2) 参加生協活動交流
- (3) 協議事項「関西広域連携プログラムの解消、並びに役割の変更に伴う「大規模災害対策協議会」の持ち方の変更について
- (4) 関西地連報告「大規模災害対策協議会2017年度活動まとめと大規模災害対策連絡会2018年度計画（案）」他

会員及び友誼団体等

5 大学生協関西北陸事業連合図上訓練参加報告

[日 時] 2017年12月26日(火) 10時～13時

[場 所] 大学生協大阪会館 会議室

[参加者] 中森専務理事、五藤役員室長、藤江役員室次長、三宅・一穂・中村役員室担当、鷺嶺ショッピング事業部長、木下フードサービス事業部長、吉川キャリア形成支援事業部長、長島会員支援部次長、沢口情報システム部長、窪田リビング事業部長、府連(中村・小山)

[開催概要]

講師：大阪いずみ市民生協 CSR 推進室
土居 栄三 氏

- (1) 本日の演習のすすめ方説明など
- (2) 講義「BCP 入門」
- (3) 演習「発災当日の行動」
- (4) 講義「初動対応の基本」
- (5) グループでの振り返り
- (6) 全体まとめ

6 消費者支援機構関西報告

○理事会

[日 時] 2017年12月15日(金) 16時～18時

[場 所] 日本生協連関西地連4階・会議室

[出 席] 理事11/15名、監事1/2名、検討委員会・事務局等5名

[概 要]

- (1) 不当表示：「お問い合わせ」案について、執行することを確認した。
- (2) 被害回復検討委員会関連：11/7消費者庁措置命令「葛の花由来イソフラボンを含む機能性表示食品を販売する16社」に対する「お問い合わせ」について、執行することを確認した。
- (3) 被害回復関係業務規定、差止請求関係業務規程の改定について

7 なにわの消費者団体連絡会報告

○12月度幹事会

[日 時] 2017年12月20日(水)

13時30分～15時

[場 所] 大阪府消費生活センター セミナー室

[出 席] 6団体

[議 題]

- (1) 大阪府消費生活センターとの意見懇談会の振り返り
- (2) なにわの風」35号記事内容について
- (3) 平成29年度全国消費者フォーラムについて
- (4) 平成29年度新年懇親会について
- (5) その他報告

○大阪府消費生活センターとの意見懇談会

[日 時] 2017年12月20日(水) 10時30分～12時30分

[場 所] 大阪府消費生活センター セミナー室

[出 席] 濱本所長、山下課長補佐、五味、

加藤、山田、清田（消費センター職員）、7団体

【懇談内容】

- (1) 今年度新しく取り組まれた啓発の取り組みなどについて
- (2) 平成30年度の予算について
- (3) 啓発事業について
- (4) 消費者行政の委託について
- (5) 大阪府消費者フェアについて
- (6) 知事懇談会の開催について

8 全大阪消費者団体連絡会報告

○理事会

[日時] 2018年1月9日(火) 15時～17時
[場所] 消団連 会議室
[概要]

【報告事項】

- (1) 専門委員会の活動
 - ・1/10遺伝子組換え食品の表示問題について、全国地域婦人団体連絡協議会幹事・遺伝子組換え表示問題に関する検討委員会委員の夏目智子さんを講師に学習会を開催。
- (2) 組織・財政の現況と対策
 - ・機関紙サイクル 11月末753部、12月度決算報告
- (4) 加盟団体の活動等
 - ・消費税の増税に反対する関西連絡会では、3/16に国会要請行動、5～7月に国会議員の地元事務所に要請行動を計画する。3/27に東京新聞記者の望月衣塑子さんを講師に増大する防衛費と武器輸出入問題の学習会を開催する。
 - ・ほんまにええの？ TPP大阪ネットワークでは、2/25に京都大学大学院教授の岡田知弘さんを講師に自由貿易と地域経済、地域住民の生活への影響についての学習会を開催する。
 - ・地球環境市民会議（CASA）では、2/10に以下の講師で温暖化防止セミナーを開催する。

「COP23の成果と課題」

名古屋大学教授 高村ゆかりさん

「地球温暖化の現状について」

大阪管区气象台 高橋 宙さん

「行動変容の促進を通じた家庭部門における温暖化対策の推進について」

株式会社住環境計画研究所

鶴崎 敬大さん

- ・消費者契約法の改正を実現する連絡会では、「つけ込み型の不当な勧誘行為の取消権を消費者に付与する」ことを求める地方議会の意見書が12/20に大阪府議会で採択された。

【協議事項】

- 1) 2月度の運営会議について
- 2) 機関紙サイクルの編集・拡大等について
- 3) エネルギー基本計画について

【行政等】

9 大阪府定期検査報告

2017年12月21日に実施した大阪府の平成29年度定期検査において、以下の通り通知がされた。

①是正又は改善すべき事項

- ・登記の遅延について
出資の総口数・総額変更については事業年度終了後4週間以内に登記を行うこと。
- ・理事の職務執行について
理事会への出席率が低い理事について、改善策を講じること。

②その他留意すべき事項

- ・文書事務取扱及び保存規則の作成について
文書事務取扱及び保存規則を作成すること。
- ・領収書の発行について
領収書の発行にあたり、控の作成や連番での管理が行われていない。控えを複写式にした領収書綴りを使用する等、内部牽制上適切な管理を行うこと。

2018年新年講演会を開催しました

1月18日(木)、大阪市内の天王寺都ホテル「吉野の間」にて、2018年新年講演会を開催しました。

日本生活協同組合連合会 顧問の浅田克己様を講師にお招きし、「生協運動のいま、そして未来へー持続可能な社会の実現に向けて～期待される生協の役割について～」をテーマにご講演いただきました。

浅田顧問からは、地域見守り協定、包括連携協定、緊急時における支援協定など自治体との連携が進み、また高齢者や障がい者支援、子育て家庭の支援などが、生協が行う地域福祉の先駆的な取り組みとして認知されつつある。国際的には国連の持続可能な開発目標（SDGs）のパートナーとして世界の協同組合が取り上げられた。SDGsの実践として倫理的（エシカル）消費は生協の活動そのものである。2016年は協同組合がユネスコ無形文化遺産に登録もされた。しかし、日本においては協同組合を民間の非営利団体と正しく理解されている人が34.3%と少ない。生協を構成する基本要素「①自発的な生活共助組織。営利目的ではない『助け合いによる生活の安定と向上』を目的とする組織。②目的を実現するため、生協は手段として事業を営む。活動の資金を事業を通して自ら調達する自立した共助組織。③組合員自らが出資し、利用し、運営に参加する自治的な参加民主主義の組織。」を再確認し、協同組合の精神である賀川豊彦が生協に託したことや、東日本大震災で実践された生協の支援活動の特徴、生協が21世紀の社会で果たす役割として、「『助け合い』の理念は変わらない。しかし『助け合うべき社会的課題』は変化する。対応すべき課題としくみの『現代化』を図るのが我々の役割」等、お話をいただきました。

〈参加者感想より抜粋〉

- 生協の理念、賀川豊彦の託した精神を改めて理解できました。またSDGsとの関連も含めて、社会から見た生協という視点をもっと意識していきたいと思いました。
- 行政、地域との関り、つながりを本当にしていかなくはないと感じました。災害時の話の中から「評価は社会の目がする」という言葉は印象的でした。
- なぜSDGsのパートナーに生協が選ばれたのかよくわかりました。奪い合いでは解決はできない問題が今の社会では山積みですが「お互い様」の精神でちょっとした他者への配慮でこの世界が少しずつでもよくなっていけるといいなあと思いました。活動の中で私もエピソードをたくさん作ってみたいです。
- これからの若い人に生協の理念を伝えていく事の難しさに悩んでいます。どのようにしたら、職員が同じ方向を目指して日々仕事に取り組めるのでしょうか。生協の役割について再度考えさせられました。
- 生協活動や理念が世界的にも必要とされる時代になっており、小さなコミュニティから大きな世界まで様々な活動可能性があることを再認識できました。大学生協の今後の活動もそれらを視野に入れて進めていきたいと思っています。



126人が参加しました。



日本生協連 浅田顧問

平成29年度大阪府消費生活協同組合 優良役職員知事表彰授与式が開催されました

2月15日(木)、大阪府の「平成29年度大阪府消費生活協同組合優良役職員知事表彰」の授与式が、ドーンセンター内の大阪府府民文化部男女参画・府民協働課の会議室にて実施されました。

今年度は、会員生協からご推薦いただいた2名と、会員外の生協から1名の合計3名の方が授賞されました。

各受賞者の功績に敬意を表しますとともに、皆様のますますのご活躍をお祈り申し上げます。

【会員生協の受賞者】

大阪いずみ市民生協 北辻 寛 様

大阪いずみ市民生協 寺内 昭則 様



後列左より惣宇利会長理事(大阪府生協連)、江島次長(大阪府府民文化部)、長澤課長(大阪府男女参画・府民協働課)
前列左より北辻様、寺内様、大阪府民共済の受賞者

受賞者紹介およびご本人からのコメント

昭和64年1月6日入協後、物流センターおよび店センターに配属され、平成11年6月まで5店舗の担当を歴任。店舗事業発展に貢献した。

また平成15年7月から平成18年4月まで、宅配配属後の期中でも、店舗部門に配属され2店舗で水産担当として貢献した。

平成11年7月以降は、宅配部門の仲間づくり推進チームを経て、支所営業担当・リーダーとして、通算13年間勤め組織目標達成に貢献し、平成27年12月からは宅配部門のエネルギー・通信営業チーム八下営業所にて、コープでんき・ガスの営業担当を勤め現在に至る。



きたつじ ひろし
北辻 寛
大阪いずみ市民生活協同組合
宅配運営部
エネルギー・通信営業チーム
八下営業所 営業担当

〈ご本人からのコメント〉

この度、大阪府の優良役職員知事賞を頂き誠にありがとうございます。

あまり表彰とは縁のないもので驚きと感謝の気持ちで一杯です。

1989年に入協して、店舗配属を承り、そして、1991年に店舗とは畑違いの営業を経て、たくさんの刺激を受け自分なりに努力もして何とかこなしてまいりました。これまでの業務に対してある一定の評価を頂けたと感じています。

自分一人ではここまでできる訳もなく家族、上司、先輩、同僚などからの支援、協力があればこそ、今の私があると確信します。これからの仕事、人生に於いても感謝の気持ちを忘れることなく業務に一生懸命に携わっていく所存です。

平成元年9月21日入協後、平成11年6月まで、宅配部門の班担当、副支所長、支所長を歴任した。

平成11年6月から、店舗部門の4店舗で担当・店長を歴任し、店舗事業に貢献した。

平成16年6月からは、宅配部門の拡大チーム・営業グループのリーダーを担い、組織目標達成に貢献した。平成27年12月からは宅配部門のエネルギー・通信営業チーム八下営業所にて、コープでんき・ガスの営業リーダーを勤め現在に至る。



てらうち あきのり
寺内 昭則
大阪いずみ市民生活協同組合
宅配運営部
エネルギー・通信営業チーム
八下営業所 営業リーダー

〈ご本人からのコメント〉

この度、大阪府の優良役職員知事賞を頂き、誠にありがとうございます。

大阪いずみ市民生活協に1989年入協し、29年目となります。配送担当から始まり、毎年、その時々々の課題に対して一生懸命、走り続けてきたという感じです。

諸先輩方から生協の活動は消費者にとってお役に立つものだ、という教えを受け、活動してまいりました。配送利用されている組合員さんや、お店に来店される組合員さんより、時々、「助かってるわ、あの時に声かけてくれてありがとう」など、うれしいお声を頂きます。その時、特にこの活動が社会に貢献できているんだと実感します。

今後も組合員のくらしにお役立ちする生協活動を一生懸命に行い、社会貢献できるようにがんばってまいります。

「～おおさかまるごと～健康チャレンジ2017」ゴール集会を開催しました

大阪府生協連の会員10医療生協では、協同して健康づくり活動「～おおさかまるごと～健康チャレンジ2017」に取り組みました。

この取り組みは、「運動」「食」「口の健康」「脳」「禁煙・節酒」「快適な睡眠」「肥満の改善」「私の健康法」の8つの基本コースから、好きなものを選択し、10月・11月の2ヶ月間に各自でチャレンジし、その結果報告書を生協に提出いただく活動です。

組合員だけでなく、学校や自治会のご協力を得て、地域にも呼びかけを行いました。結果8,527名に登録いただき、内6,790名に結果報告を提出いただきました。

2月27日(火)に取り組みの結果を振り返り、更なる活動の広がりを作ることを確認する場として、ゴール集会をドーンセンターで開催し、380名が参加しました。

集会では、実行委員会から、全体のまとめ報告の後、なにわ保健生協、ほくせつ医療生協、けいはん医療生協から特徴的な取り組み事例の報告がありました。そして、記念の学習講演会を、福岡県福岡市のみらいクリニック院長の今井一彰さんをお招きし行いました。

今井先生からは、口呼吸の改善は、あらゆる病気の原因治療につながる。「あいうべ体操」をし、自然と鼻で呼吸ができるようになり、鼻呼吸をすることで身体が変わることなどについてお話いただきました。

笑いヨガのデモンストレーションをし、次年度も健康チャレンジを更に広げることを皆で確認しました。



サラダボウル

～ひとりひとりが輝いて～

ジェンダーフォーラム協議会では、2016～2017年度は「ワーク・ライフ・バランスって何」をテーマに活動しました。各年代層から「ワーク・ライフ・バランス」を考えてみることとし、2016年度は「大学生の学生生活とお金の事情」について学費と奨学金制度、ブラックバイトについて学習しました。

2017年度は子育て世代として、未就学児童の親子を対象に、より楽しく育児するための知識を身につける体験型の親子企画を実施しました。以下、ジェンダーフォーラム協議会委員の宮原さんよりレポートします。

～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～

2018年2月4日(日)ドーンセンター（大阪府男女参画・青少年センター）において、ジェンダーフォーラム協議会主催「親子でワイルドあそび～親子であそびを通して、コミュニケーションUP～」を開催しました。

講師は、NPO法人ファザーリングジャパン関西副理事長 和田憲明さんをお招きしました。あいにくインフルエンザが流行した時期と重なり、参加者が5組12名と少し寂しいことや、始まる前の



子ども達はお父さん、お母さんから離れない姿でしたが、和田さんの「子どもと仲良くなる3つの魔法+a」で、みるみる子ども達が和田さんのことが気になりだして周りに集まりだしました。まず、ハンカチを頭にのせて、笑顔で挨拶をしながらハンカチを落とす事を繰り返すことをされました。一見何でもない行動のようですが、1. 繰り返す 2. 感情を見せる 3. リアクションをする意味がありました。2回目のハンカチが落ちる行為に、自分が思った通りのことが起こるとの安心感、ハンカチが落ちて、びっくりすることが、『自分と同じ思いだとの共感、認められる・自信になり、子ども達は喜び』に変わるそうです。又+aは笑顔。『笑顔を見せると子どもの脳の血流が増える』とのこと。和田さんのその言葉にお父さん、お母さんも自然と笑顔になっていました。

次はおすすめ絵本を何冊か教えていただきましたが、私が印象に残った言葉は、絵本を読み終わったら表紙に戻ってあげてくださいとのことでした。表紙に戻ってあげることで、子どもは好きな本を認識でき、次は『自分で本を探すことができる』ようになるそうです。

又、タオル遊びでは 1. つなひき 2. ぶらんこ 3. ひこうきで親子で遊ぶ方法を教えていただきました。

子どもと楽しく遊ぶという内容に思いましたが、タオル遊びは、今、外でなかなか思いっきり遊ぶ場所がなくなっている中、家の中でも、つなひきで瞬発力や本気でひっぱる体験ができる、ぶらんこでぶら下がる力がつく、ひこうきで回転することにより『三半規管が発達し、乗り物酔いしにくくなる』などの意味があることを教えていただきました。

しんぶんあそびでは、1. やぶる 2. つくる 3. しんぶんプールで遊ぶ内容を教えていただきました。しんぶんをやぶる遊びは、しんぶんにくるくるパンチをするという遊びでした。『しんぶんに思いっきりパンチをしてやぶっていい。ただし、友達にパンチをしてはいけないとの区別ができる子どもになる』そうです。又しんぶんプールでは、思いっきり飛び込む、思う存分しんぶんをばらまく、そしてスッキリにした後は子ども達が率先してしんぶんを片付けていました。

『子どもは全力で遊ぶ事で、自分の全力を知る事ができる。自分の全力を知っている子どもは力のコントロールができる子どもになる』との事でした。

最初は知らない所に来て不安そうな顔だった子ども達が、最後は和田さんとのさよならに名残惜しい顔に、和田さんの遊びにも一つ一つ意味がある説明をしていただいて、遊びにも理由があることを知り親御さんにとっても大変有意義な企画になったのではないかと思います。又、親子での遊びを通して、夫婦のパートナーシップを考えてもらえるきっかけになれば嬉しいです。



大阪よどがわ市民生活協同組合
理事 宮原 智子

スケジュール

3月

- 4日 福島の子ども保養プロジェクト「コヨット！ in おおさか2018春」参加者説明会
- 12日 第3回近畿地区生協府県連協議会
- 14日 第1回生協大会実行委員会
- 22日 第5回理事会
- 24日 コヨット！ in おおさか2018春（～28日）
- 30日 防災・減災学習交流会

4月

- 5日 関西地連第5回運営委員会
- 5日 日本生協連・コープ共済連近畿地区総会議案検討会議
- 16日 会報 No.334発行
- 16日 第2回文楽・コンサート実行委員会
- 17日 第2回生協大会実行委員会
- 19日 第4回組織活動委員会

5月

- 16日 第3回文楽・コンサート実行委員会
- 17日 第6回理事会

6月

- 21日 第7回理事会・第57回通常総会・第1回理事会